

ヒトにおけるオステオポンチン産生細胞の局在の 病理学的評価に関する医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者兼実務責任者

所属 スポーツ医学総合センター 勝俣 良紀

このたび当院では、肺線維症、間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患、大動脈弁狭窄症、冠動脈硬化症のご病気で病理解剖された患者さんの診断後の検体ならびに診療記録を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんならびにご遺族への新たな負担は一切ありません。また患者さんならびにご遺族のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれないご遺族の方は、その旨を「9 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

1990 年以降、慶應義塾大学病院で病理解剖を受け、組織学的に、肺線維症、間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患、大動脈弁狭窄症もしくは冠動脈硬化症を認めた患者様。また、対象となる患者様の検体の健常組織部分をコントロールに用いる。

2 研究課題名

承認番号 20221167

研究課題名 ヒトにおけるオステオポンチン産生細胞の局在の病理学的評価

3 研究実施機関

慶應義塾大学スポーツ医学教室、病理学教室、循環器内科学教室

4 本研究の意義、目的、方法

オステオポンチンという病気の原因となる物質は、肺の線維化による呼吸機能の低下や、狭心症や大

動脈弁狭窄症を代表とした動脈硬化を悪化することが報告されています。オステオポンチンを分泌する細胞をヒトで同定することは、オステオポンチンが原因で悪化する病気に対する新たな治療法の開発につながると考えられます。

<方法>

慶應義塾大学病院の病理学教室で病理解剖を受けられた患者様のうち、肺線維症、間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患、大動脈弁狭窄症、冠動脈硬化症を持つ患者さんの病理診断後に保管されている検体(パラフィン包埋組織、凍結保管組織)から、組織プレパラート標本を再作製し、一般的な染色に加えて、オステオポンチンの生物学的特性に関わるタンパク質の発現分布を調べるための特殊染色を行い、オステオポンチン関連疾患における組織病理学的特徴を詳細に検討します。さらに、組織プレパラート標本の空間的トランスクリプトーム解析を行います。また、対象となる患者様の検体の健常組織部分をコントロールに用います。

5 協力をお願いする内容

病理解剖診断後に保管されている検体(パラフィン包埋組織、凍結保管組織)を本研究のために再使用させていただきます。また、生前の患者さんの治療経過と比較するために、当該疾患に関する患者さんの診療記録、検査結果ならびに診断用画像データを照会させていただきます。研究に協力いただく際の金銭的負担や侵襲は一切ありません。

協力によって得られた研究の成果は、氏名など個人を特定する情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌およびデータベース上で公に発表されます。本研究の結果として知的財産権が生じる可能性があります。その権利は国、研究機関、民間企業を含む研究機関および研究遂行者などに属し、研究協力者ならびにご遺族はこの知的財産権を持っていると断言できません。また、その知的財産権をもととして経済的利益が生じる可能性があります。研究協力者ならびにご遺族はこれについても権利をもちません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日 ~ 2026 年 12 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)ならびにご遺族の個人情報は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの検体および生前の診療記録は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した検体および生前の診療記録を結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

第 1.3 版(2024 年 7 月 1 日作成)

4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 研究資金等および利益相反に関する事項

本研究を実施するための研究資金は科研費を使用して実施します。

外部との利益関係により教育・研究に従事する者としての社会的責任と、外部との関係によって得る利益とが衝突・相反するため、大学の研究者として必要な「公正な姿勢」が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から疑われることを利益相反といいます。本研究に関する研究者の利益相反はありません。

9 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また、本研究の対象となる方のご遺族より、検体ならびに診療記録の使用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。なお、本研究においては、研究協力者ならびにご遺族に直接有益な結果が出る可能性が極めて低く、ご遺族に解析結果を開示することは原則としてありません。

慶應義塾大学医学部

スポーツ医学 専任講師 勝俣 良紀

循環器内科 助教 白川 公亮

TEL : 03-5843-6702 FAX : 03-5363-3875

対応時間帯 : 平日 9:00 ~ 17:00